



寒河江校だより 第7号

2025 年 3月

今年度も本当にありがとうございました

寒河江校の今年度は、開校10周年を学校全体で祝うということを主軸に、これまで取り組むことができなかった様々な活動に積極的に取り組んでみました。振り返ると、少しバタバタと騒がしい年でしたが、子どもたちの様々な笑顔と元気に活動する姿を沢山見ることができた一年でもありました。保護者の皆様からたくさんのお力を貸していただき本当にありがとうございました。

さて、寒河江校では、「いつも、子どもたちに真っすぐに向き合い、子どもたちの気持ちに添えていく。」ということを大事にしています。そのために、日々の学習活動の中で、一人一人の先生に以下のことを常に意識して取り組んでほしいと思っています。

子どもの、できることを認める。
子どもの、できつつあることを丁寧に上げていく。
子どもが、もっとしたいという気持ちを促し支えていく。

このことは、子どもたちを真っすぐ見ていないと見えてこないことだと思っています。さっきよりも昨日よりもほんの少しの表情や動きの変化を見て、子どもの思いや動きに添えていくこと、これが大切なことだと思っています。寒河江校は、このことを大切にしかかわりができる先生方がたくさんいる学校です。

日々の子どもの成長は本当に小さなものです。ですが、一日一日を過ごすことで、小さな成長が積み重なり、大きな成長になっていきます。日々の小さなことを見逃さないこと、それらをしっかり受け止めていくことが、次につながっていく一歩になります。小さな成長は、学校だけでなく、放課後等デイサービス事業所等の場でも、家庭でも見られます。お互いに連携しあい、子どもたちの小さな成長を共有することを寒河江校では今後も大事にしていきたいと思っています。

次年度も今年度と同様、保護者の皆様、放課後等デイサービスの皆様のお力を沢山お借りします。共に、子どもたちの成長を支えていきましょう。よろしくお願いいたします。

2年生の SH さんが転校することになりました

2年生の SH さんが、楯岡特別支援学校の本校に4月から転校することになりました。6日に「H さん 思い出の会」を全校で行いました。穂純さんは、寒河江校のみんなのことが大好きです。寒河江校のみんなも穂純さんのことが大好きです。H さんは「〇〇さんと一緒に行く。」と言って、友達が登校するのを待っていることがよくありました。友達が困っているのを見ると、すぐにそばに行き「大丈夫？」と声を掛ける姿もありました。きっと本校にいても、たくさんの友達ができていると思います。本校といっても同じ楯岡特別支援学校です。これまでのように毎日会うことはできませんが、交流学習やコンサートなど、一緒に学習する機会があります。次に会ったとき、お互いに「〇〇さん」「H さん」と声を掛け合っとかかわりあえたら良いですね。

